

# 独立生計申立書（私費外国人留学生を除く）

令和 年 月 日

学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

1. 私は、次の認定条件の1（1はA～Cのいずれか）～4の**全て**に該当し父母等から独立した生計を営んでいます。（該当する場合は、下記1～4にチェックしてください（1はA～Cのいずれか））

認定条件		必要書類の例（詳細は必要書類一覧表をご確認ください。）	備考
	以下1-4の <b>全て</b> に該当すること (但し、1はA-Cのいずれか)	○本人（及び配偶者）の所得（課税）証明書（必須） 上記に加えて、以下1-4の全てに該当すること (但し、1はA-Cのいずれか)	全てに該当しない場合は、 <b>独立生計での申請は不可です。</b>
1	A. 本人（配偶者も含む）に、年間103万円を超える収入（給与収入又は所得）があり、その収入について、所得申告がなされ、所得証明が発行される者	A-前年から引き続き同じ給与収入又は所得がある場合は、源泉徴収票（写）や確定申告控（写）等（年収を示すもの）	★認定条件の収入に含まれない主なもの ・貸与奨学金 ・基準日（前期4月1日、後期10月1日）時点で終了（退職・休職）しているもの
	B. 本人（配偶者も含む）に、今年度、給与収入（例：給与奨学金（年額）、アルバイト等も含めた総額）又は所得が103万円を超える見込みの者	B-その根拠証明書等（給与支給（予定）証明書〔様式2〕、学振採用決定が分かるもの、奨学金の受給額が分かるもの等）	
	C. 本人が本学への <b>入学のために退職（休職等）</b> し無収入となった者で就労時の預貯金により生活を行っており、その預金残高が103万円を超えている者	C-退職・休職し預貯金により生活を行っている場合は、 <b>退職（休職等）証明書（他の書類は不可）</b> 及び氏名と基準日時点の預金残高がわかるもの（通帳の写等）	
2	所得税法上及び健康保険上、父母等（配偶者を除く）の扶養親族でない者	・マイナポータルよりダウンロードできる医療保険の資格者情報（日付、氏名、「本人・家族の別」が明記されていること） ・配偶者がいる場合：配偶者の医療保険の資格者情報も必要 ※申請者本人（又は配偶者）筆頭の基準日以降に印刷したもの	
3	本人（及び配偶者）の父母等と別居している者	・本人（配偶者も含む）の住民票（原本） ・本人（配偶者も含む）の父母の住民票等（コピー可）※ ・配偶者がいる場合：配偶者の父母の住民票等も必要 ※ただし遠方・高齢等の事情により、住民票の取得が困難な場合は、免許証や保険証（住所が記載されているもの）の写でも可	父母と住所が同じ場合は別居とはみなしません。
4	父母等（配偶者を除く）から経済的な援助を受けていない者	・独立生計申立書〔様式7〕	

2. 私（と配偶者）の「1ヶ月当たりの平均家計費」および「年収」は次のとおりです。

収 入				支 出（学費は含めない）	
続柄	項 目	年 収	月平均（=年収÷12）	項 目	月平均
(例) 本人 配偶者	定 職（支払金額を記入）	千円	千円	住居費	千円
				水道光熱費・通信費	千円
	日本学術振興会特別研究員・ 研究旅行費を申請している場合は月平均を14万円と記入 京都大学大学院教育支援機構 次世代AI/SPRINGプログラム	千円	千円	食費	千円
	TA/TAS/RA/OA/RF等	千円	千円	衣服・日用品費	千円
	アルバイト	千円	千円	教材費	千円
	給与型奨学金	千円	千円	交通費	千円
	(名称 )	千円	千円	健康保険料・医療費	千円
	貸与型奨学金☆	千円	千円	子どもの養育費	千円
	(名称 )	千円	千円		
	預貯金引出☆☆	千円	千円	その他	千円
	残高と一致させる必要はありません 1-Cの申請者は願書に同額を入力すること	千円	千円	( )	
	その他 ( )	千円	千円		
	合 計	千円	千円	合 計	千円

収入は根拠のある数字を記入してください

収支額を一致させてください

※願書の入力内容と一致すること(但し、☆は除く/☆☆は認定条件1-Cでの申請者のみ一致すること)